

令和6年度

学校評価結果

坂井市立長畝小学校

豊かな心

スクールプラン	アンケート項目		※1 R5		※1 R6	※2 達成度
3 あ運動の定着	教職員	私は、手本となるようなあいさつをしたり、大きな声であいさつをしたりするための声かけなどの指導を行った。	100.0%	=	100.0%	○
	児童	わたしは、すすんであいさつすることができた。 <small style="color: red;">スクールプラン目標 90%</small>	93.0%	↗	96.9%	○
	保護者	お子さまは、自分から進んであいさつをしている。	78.8%	↗	80.5%	○
	教職員	私は、ルールを守って安全に生活する指導を行った。	100.0%	=	100.0%	○
	児童	わたしは、学校や家でのルールを守って安全に生活することができた。	92.0%	↗	95.3%	○
	保護者	お子さまは、ルールを守って安全に生活することを心がけている。	92.2%	↗	93.9%	○
人権教育・道徳教育の推進	教職員	私は、思いやりの心を育てる指導を行った。	100.0%	=	100.0%	○
	児童	わたしは、友だちの気持ちを考えた言葉づかいや行動をすることができた。 <small style="color: red;">スクールプラン目標 90%</small>	94.1%	=	94.1%	○
	保護者	お子さまは、家族やまわりの人の気持ちを考えて話したり行動したりすることができている。	87.0%	≒	87.6%	○
絆づくり・居場所づくり	教職員	私は、「絆づくり」「居場所づくり」を大切にしたい学校行事や交流活動を行った。	100.0%	=	100.0%	○
	児童	わたしは、行事や集会などのたてわり活動で協力して活動することができた。	97.9%	≒	97.7%	○
	保護者	お子さまは、学校が楽しいと感じている。	93.3%	≒	93.4%	○
不登校・いじめ等の未然防止	教職員	私は、「いじめ」をなくすための指導を行った。	100.0%	=	100.0%	○
	児童	わたしは、友だちのいやがることをしないように行動することができた。	94.4%	≒	95.3%	○
	保護者	お子さまは、まわりの人がいやがることをしないように行動することができている。	91.3%	↗	92.9%	○
体験活動の充実	教職員	私は、様々な体験活動を取り入れた指導を行った。	100.0%	↘	93.8%	○
	児童	わたしは、進んで体験活動をすることができた。	92.3%	↗	94.5%	○
	保護者	お子さまは、学校での体験活動を行っている。	97.2%	↘	94.2%	○
特別支援、教育相談体制の充実	教職員	私は、個に応じた支援を行った。	100.0%	=	100.0%	○
成果と課題	<p>■3 あ（あいさつ、安全、後始末）運動の定着 登校時、校舎内、下校時と、常に元気なあいさつが交わされている素晴らしい雰囲気である。職員・児童による玄関での挨拶運動や、児童集会における委員会の発表が効果的であったと考える。しかし、保護者の評価が目標の数値（90%）を下回ったことから、今後、家庭や地域といった学校外での挨拶についても意識できるような働きかけを行っていく。道徳や、学活、集会などで、挨拶について考える機会を設けていきたい。</p> <p>安全においては、教職員による休み時間の見守りや委員会による声掛けが、落ち着いた生活につながっていると感じている。一方で、放課後にトラブルが多かったため、公共施設の利用の仕方について児童が自分で判断して正しく行動できるように、学ぶ機会を設けていきたい。</p> <p>■不登校・いじめ等の未然防止 週に1回「いじめノックアウト」月に1回「いじめアンケート」を全児童に行った。また、学期に1回保護者に「いじめ早期発見アンケート」を行った。その結果、「いじめは絶対にいけない」という雰囲気作りにつながったと言える。また、いじめを認知したときは、早期にいじめ対策チームをつくり対応することができた。週3回、放課後に児童の情報（内容や対応について）を共有したことも成果としてあげられる。</p> <p>■特別支援、教育相談体制の充実 全職員で全児童を支援していくことを確立させるために、毎月のサポート会議で児童の様子を全教職員で共有し、共通理解を図った。また、支援会議で様々な気付きがちな児童への支援の仕方を話し合い柔軟な対応ができたことや、スクールカウンセラーなど関係機関との協力や、保護者との密接な連携ができたことが効果があった。しかし、児童の支援に確実性をもたせるために、教員間、学校と関連機関間、学校と保護者間の「報告・連絡・相談」のさらなる強化を図っていきたい。</p>					

※1 それぞれのアンケート項目について次の4つの回答がある。A：よく当てはまる B：だいたい当てはまる C：あまり当てはまらない D：全く当てはまらない
達成度の数値はAとBの割合を合わせたものである。

※2 「達成度」はA+Bの割合が80%を上回っている項目が○ 80%を下回っている項目が△となっている。≒は差が-1%～+1%の範囲とする。
80%を上回っているが、スクールプランの目標値に届かなかった項目は●とする。

確かな学力

スクールプラン	アンケート項目		R5		R6	達成度
基礎学力の定着	教職員	私は、授業や家庭学習の中で、漢字や計算の育成を図るための実践を行った。	100.0%	=	100.0%	○
	児童	わたしは、漢字や計算テストにおいて練習した。	91.6%	≒	91.8%	○
	保護者	お子さまは、漢字や計算テストに向けて学習に取り組んでいた。	57.7%	↗	81.0%	○
対話の質を高める授業改善	教職員	私は、対話の質を高めるための取り組みを行った。	100.0%	=	100.0%	○
	児童	わたしは、友達と意見を伝え合うことが楽しかった。	89.2%	↗	96.5%	○
読書活動の充実	教職員	私は、読書活動に取り組む指導を行った。	92.9%	↘	84.6%	○
	児童	わたしは、本を読むことができた。	88.8%	↘	87.5%	○
	保護者	お子さまは、読書の機会をもつことができている。	38.2%	↗	39.4%	△
ICT機器の効果的な活用	教職員	私は、タブレットを効果的に活用した実践を行った。	93.8%	↘	88.2%	○
	児童	わたしは、タブレットを使った学習に取り組むことができた。	96.9%	≒	97.7%	○
ふり返し活動の充実	教職員	私は、めあてに沿ったふり返し活動を行った。	87.5%	↗	100.0%	○
	児童	わたしは、ふり返し活動に取り組むことができた。	95.5%	↘	93.4%	○
家庭学習の習慣化	教職員	私は、基礎学力の充実を図るために家庭学習の習慣を身につける取り組みを行った。	100.0%	=	100.0%	○
	児童	わたしは、家庭学習に取り組んだ。	93.0%	↗	94.9%	○
	保護者	お子さまは、家庭学習に取り組んでいる。	72.4%	↗	77.4%	△
成果と課題	<p>■基礎学力の定着 児童と保護者、教職員ともに基礎学力が定着したと肯定的にとらえられている。今年はい具体的に「漢字・計算テスト」を対象を絞り、学びのファイルで、目標や頑張りを保護者に見てもらい機会を設定した。来年度も継続して学びのファイルの活用を考えていきたい。</p> <p>■対話の質を高める授業改善 児童が対話する授業が「楽しい」と感じていることから、教員の授業の工夫により、児童の主体的に学ぶ意識が高まったと感じられる。教員の実践をPadlet（掲示板アプリ）や現職教育で共有したことにより、教員同士の授業改善の学び合いが積極的に行われ、充実した対話活動ができるようになった。次年度も引き続き、児童同士が主体的に学び合う授業を目指し、校内研修や研究を行っていく。</p> <p>■読書活動の充実 少しずつではあるが向上している。担任が児童を図書室に連れていく機会を設けていたことや、ボランティアの方や図書館の方、図書委員会の読み聞かせを行っていたことが成果として表れていると言える。来年度は、教科書関連図書を充実させていくことや、易しく読める本（LL本）のコーナーを作ることで児童の読書への関心をさらに高めていきたい。図書室を業間、昼休みに全学年に開放していくことで、読書の機会の充実も図っていく。</p> <p>■ICT機器の効果的な活用 教職員も児童もICT操作やICTを活用した授業に慣れ、日常的にICTを効果的に活用していると言える。教員がICTを使った授業公開を多く行い、参観や研究会を通して積極的に学び合い、情報を共有できたこともよい結果につながっている。</p> <p>■振り返り活動の充実 授業における振り返り活動の充実を授業研究の視点とし、日々の実践をPadlet（掲示板アプリ）や現職教育で共有したことにより、教職員が意識して振り返り活動を取り入れて授業改善を行っているため、全員が肯定的な回答をしている。</p> <p>■家庭学習の習慣化 保護者の評価が、昨年度よりも5ポイント上がった。ドリル的な宿題だけでなく、デジタルドリルや自学などを取り入れ、自ら学ぶ習慣をつけるような手立てを行ってきたことがよい結果につながってきていると言える。今後は、基礎学力については、学校の授業等で十分つけていけるように工夫をしていくと同時に、自主的に家庭学習ができるように宿題の量や内容などを考えていく。</p>					

健康・安全

スクールプラン	アンケート項目		R5		R6	達成度
規則正しい生活習慣	教職員	私は、「早寝・早起き・朝ごはん」について、児童に対する指導を行った。	87.5%	↗	100.0%	○
	児童	わたしは、「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけることができた。 <small style="color: red;">スクールプラン目標 90%</small>	88.5%	≒	88.7%	●
	保護者	お子さまは、「早寝・早起き・朝ごはん」が身についている。	87.4%	↘	85.8%	○
体力向上	教職員	私は、児童の体力向上のため、体育や業間運動の意欲づけを促す声かけを行った。	100.0%	↘	94.1%	○
	児童	わたしは、体育や業間運動で運動することができた。 <small style="color: red;">スクールプラン目標 90%</small>	94.8%	↗	97.3%	○
	保護者	お子さまは、運動に親しみ、体力向上に取り組んでいる。	81.1%	↗	83.6%	○
運動の習慣化	教職員	私は、児童の運動の習慣化を図るため、休み時間の遊びを促す声かけを行った。	100.0%	↘	94.1%	○
	児童	わたしは、休み時間に外遊びに取り組んだ。	75.9%	↗	77.0%	△
	保護者	お子さまは、運動する習慣が（スポーツ少年団での活動や、帰宅後または休日での外遊びを含む）身についている。	75.6%	≒	76.1%	△
安心・安全な環境づくり	教職員	学校は、地域と連携し安心・安全な環境づくりを行った。	100.0%	=	100.0%	○
食育の推進	教職員	私は、栄養士と連携し、食育の推進を行った。	100.0%	↘	94.1%	○
	児童	わたしは、給食に使われる食べ物や料理に関心をもって食べることができた。	93.0%	≒	93.4%	○
	保護者	お子さまは、食に関する興味・関心が高い。	70.1%	≒	69.5%	△
成果と課題	<p>■児童の運動意欲の向上 体育や業間運動で運動に取り組めた児童が10ポイント程度上昇した。業間マラソンや休み時間のなわとび運動などが効果的に働いたと思われる。また、児童が主体となった各委員会の運動企画なども、運動を楽しむ一つの要因になっている。今後も楽しい運動の機会を増やしていくように、委員会活動を充実させていきたい。</p> <p>■早寝・早起き・朝ごはんの励行 早寝・早起き・朝ごはんについて難しい児童もいるが、概ね良好な結果と言える。可能な限りよりよい生活習慣に取り組もうとする気持ちを育成していくことが求められる。今後も学期始めに行う基本的な生活習慣チェックの活用方法を工夫し、児童の規則正しい生活を送ろうとする意識を高めていきたい。</p> <p>■児童の運動の習慣化 今後も業間や昼休みに積極的に運動する機会を設けていく。今年度は、酷暑が長続きしたこともあり、運動の機会を確保できない期間があったが、多目的ホールといった空調がある大部屋を運動用に開放することも検討し、運動の機会を確保していく。</p> <p>■食育の推進、発信 食への興味・関心を高めるため、給食だよりや給食レシピの配信を行った。また、給食委員会を中心とした児童集会での呼びかけもあり、食への興味・関心が高まった。しかし、保護者の肯定的な回答は高くなかったため、家庭での食に関する話題が増えるような取り組みを、家庭科の授業や給食委員会の活動を通して行っていきたい。</p>					

家庭・地域との連携

スクールプラン	アンケート項目		R5		R6	達成度
適切なネット利用	教職員	私は、パソコンやインターネットを適切に利用できるような指導を行った。	92.3%	=	92.3%	○
	児童	わたしは、パソコンやインターネットを正しく使うことができた。	86.7%	↗	96.9%	○
	保護者	お子さまは、パソコンやインターネットを適切に利用することができている。	75.2%	=	75.2%	△
保幼小中の連携	教職員	私は、児童や教員の保幼小中の連携につとめた。	92.9%	=	92.9%	○
開かれた学校づくり	教職員	H&Sでのお便りやブログ、広報誌などを通じて学校の情報を保護者に伝えるように発信した。	93.8%	↗	100.0%	○
	保護者	学校はH&Sでのお便りやブログ、広報誌などを通じて、学校の情報発信をした。	86.2%	↗	96.0%	○
ふるさと教育の推進	教職員	私は、教育活動全般において、地域の人材・施設・教材・校外学習を活用した。	100.0%	=	100.0%	○
	児童	わたしは、ふるさとのよさを伝えることができた。	94.4%	≡	94.9%	○
	保護者	お子さまは、地域の行事や祭り、活動に参加している。	73.6%	↗	83.6%	○
成果と課題	<p>■適切なネット利用 インターネットの正しい使い方については、児童の肯定率が10ポイントほど上がり、意識が高まっていると言える。しかし、家庭でのICT機器の使用、時間を守らない、ルールを守らないといった課題がある。来年度は、ICT機器の使い方について、年度初めにスマートルールを決め、親子でSNSについて考える機会を作っていくようにする。</p> <p>■開かれた学校づくり 保護者の肯定率が大きく増えている。日々のブログ発信があったことがよい結果につながった。また、昨年度のホームページからのブログではなく、Home&Schoolで通知が来るため、見逃しがなく、見ていただく機会を増やすことができた。</p> <p>■ふるさと教育の推進 児童0.5ポイントと保護者10ポイントの肯定率が増えた。長畝地区の良さを学び、発信する単元設計、授業づくりの効果があったと考えられる。ふるさとのよさを見つける課題に取り組んだことや、地区の祭りとコラボしたことが、保護者にも活動を知ってもらう機会となり、よかったのではないかと。また、地区の祭りとPTA行事がコラボしたこともよい評価につながっているのだと思う。これらのことを通して、児童のふるさとへの愛着は着実に上がってきていると考える。これからも学校で取り組んでいるふるさと学習に関する内容を保護者へ周知していくことで、ふるさと教育に関する意識を高めていきたいと考える。</p>					

地域の意見

- ・長畝小学校のスクールプランに基づく先生方の尽力に深く感謝致します。年々向上しています評価に、児童の育成に重要な事柄があり、実生活への流用ができてきています。今後も教育目標と児童像に長畝っ子の良さを生かせるよう、先生方の指導を継続願います。
- ・地域とのふれ合い学習、児童の安全確保、健全育成において、民生、児童委員会、又は児童の身内の者として協力できることがあれば指導願います。

保護者の意見

- ・いつも、子どもの事をよく見て考えてくださり感謝しかありません。本当にありがとうございます。
- ・担任の先生がよく気にしてくれているので安心しています。子供が学校へ行けない時があってその時に親も先生達と触れ合う機会があってその時間がとても良かったと思っています。
- ・給食の時間、グループで食べれるような体制にそろそろなってもいいかと思います。
- ・学習意欲が高い子や勉強の理解度が高い子には難しい問題もチャレンジさせて頂きたいです。
- ・ホーム&スクールで各学年、学校の様子を発信して下さっているのも、学校の様子や行事の様子がよく分かるようになりました。とても助かっていて、ありがたく感じます。
- ・細かな情報発信等、いつもありがとうございます。
- ・いつもブログ等で学校での様子を詳しく知らせて頂きありがとうございます。担任の先生は勿論、それ以外の先生にも関わりを持って頂き、先生と児童との距離が近いと感じています。たくさん目で見ているのだと感謝しています。先生方には毎朝、交差点、信号のない横断歩道付近、玄関前で子供達を見守り声がけして頂きありがとうございます。
- ・ブログ掲載ありがとうございます。細やかな配信で学校の様子がよくわかり楽しみにしています。だよりはPDFでもよいのですが、ブログはPDFではなく、11/20のような見え方のほうが見やすいなあと思います。
- ・子供達にSNS等のご指導をお願いしたい。
- ・SNS利用に関する啓発の状況（実施の有無、内容）を知りたい。家庭での教育は前提ですが。
- ・いつもお世話になりありがとうございます。子供達をよく見て頂き、ご指導頂き感謝しております。一つだけ、家庭では、テレビや画面を見る時間はなるべく短くなるようにと考え、インターネットやゲームもさせておりません。一方、近年学校教育の中ではタブレットを用いた学習が多くなり、このようなものに触れる機会や時間も増えてきたように感じます。適切な使用方法や付き合い方などについて、また目の健康にも留意してご指導を頂ければ幸いに思います。またどうぞよろしくお願い致します。